

6月13日(土曜日)「やり直しの祈り」

【新改訳 2017】

詩篇 51・1－19

「神よ。私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。私をあなたの御前から、投げ捨てず、あなたの御霊を、私から取り去らないでください。あなたの救いの喜びを、私に返し、喜んで仕える霊が、私をささえますように。」(10－12節)

先に、32 篇でダビデ王の罪について学びました。同じ事件の時に歌われた詩です。罪とともに神を見失ったダビデは、悔い改めてやり直すためにこう祈ったのです。

① きよい心(=神が見える心)を造り(=新しく造り)、ゆらいだ神との霊的關係をゆるがないものにし、霊的に新しくしてください。②主の御前から投げ捨てないでください。また聖霊を取り去らさないでください(この祈りは、主君であったサウル王のことが念頭にあってのことでしょう)③救いの喜びを返し、喜んで仕える霊の状態にしてください。神が見えず、喜んで仕えることができないのは罪のゆえだったのです。私たちの心と霊は、救いの喜びと奉仕はどうでしょうか。

～祈り～

主よ。救いの喜び、奉仕を喜ぶ心と霊をもち続けられるように、また、いつも悔い改めつつ、やり直しができるように、罪深い私を助けてください。

【学びのために】

Ⅰ サムエル16・14「主の霊はサウルを離れ……」、8・12、28・15
など参照

(参考区分) 1-4 節 罪の告白、5-9 節 罪からのきよめを求める祈り、10-17節 新生を求める祈り、18-19 節 エルサレムの繁栄を願う祈り。